

一般質問通告書

【第73回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様

多可町議会 安田 昇 司



| | |
|-------------------------------|----|
| 受 領 日 | 番号 |
| 平成28年11月24日 午前・午後 8 時 31 分 | 2 |

| 質問の項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| <p>1. 町道豊部35号線の進捗状況と今後の展開は</p> | 町長 |
| <p>この道路は、実質国道427号の（通称）豊部バイパスとして大きく住民の皆さんが期待されている道路です。豊部地内の国道427号は通学路としても歩道も無いのに利用されており、危険解消のため一日も早い完成が望まれているものです。</p> <p>11月の生活環境常任委員会で12月から用地買収・物件移転に入ります。との説明を受けました。今後の展開はどうなるのですか。</p> <p>@町の29年度予算は、どう組むのか。県との事業協議は、どのように進んでいるのか。</p> <p>@供用開始は何時からと考えているか。</p> <p>@用地買収を完了したら仮畦畔・水口を作るのか。（29年度水稻作付けはできるのか）</p> | |
| <p>2. 高齢者の運転について町独自運転講習を（転ばぬ先のハンドル運動を展開しては）</p> | 町長 |
| <p>*連日のごとく高齢者の交通事故が報道されています。私たちの生活には、欠かせない車です。ましてや多可町では車無しでの生活は無理と言っても過言ではありません。そこで全国に先駆けて高齢者の運転講習に町が積極的にかかわる施策を実施したらどうでしょうか。転ばぬ先の杖にあやかり「転ばぬ先のハンドル運動」とでも銘打って29年度から展開してはと考えますが如何ですか。（仮称「転ばぬ先のハンドル運動」というような条例も意識アップになる）</p> <p>案として</p> <p>集落の老人会で年3～4回春蘭荘に行きますが、行って血圧測定をしてもらい、弁当を食べて帰るだけの集落が多いのではないかと思います。そこで、春蘭荘行きの機会を利用して、「転ばぬ先のハンドル運動」を展開してはと考えます。かつて旧加美町で、高齢者の健康づくりと徹底的に取り組んで、これに大</p> | |

きな事業効果があり「県下一番の健康で長寿の町」宣言をされた記憶がありません。今回は徹底的に高齢者の運転技術の再確認運動を展開しての安全・安心な町づくりはどうでしょうか。

どうするか具体の案としてはこんなのはどうですか。

@町独自の高齢者運転技術講習を義務づけてはどうか。(65歳以上を対象)

*模擬運転装置(トレーチャー)による運転技術の自己確認。

@春蘭荘の横のグラウンドで駐車入れ訓練(スーパー等の駐車場で駐車ライン内にバックでは一発できっちり止められない高齢者が多い)

@視野のテスト150度確認、視力テスト、聴力テスト。

@簡単な認知症テスト。

@交通ルールの再確認(交差点の優先。高速道等での逆走)をDVD等で受ける。等々と「転ばぬ先のハンドル運動」を積極的に町の事業として展開してはと考えますが町長の考え方を求めます。

3. 使用していない町立施設の維持管理はどのようになっているか。(空き家等の上下水道の維持管理も含み)

町長

*現在、使用していない町立施設の維持管理はどのようになっているのか。

@草刈り、電気、水道、下水道等の維持管理はどうしているのか。

@施設の高圧電力、水道大口径等は切り替えてあるのか。停止してあるのか。

例 中区・八千代区の旧給食センター、みなみ・きた保育所、ウッディーハウス等々の各施設の基本料金はストップしてあるのか。

*関連して、空き家等になった場合の各家へ配管している上下水道はどのようにして維持管理しているのか。

@水道の休止・廃止はどこで止めるのか。

@下水道の休止・廃止は、どのようにして止めるのか。